

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校学校教育施設管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	03	01	03	02
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	学校教育課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	宮本 信一				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中学校の生徒	意図	教育施設や整備の点検及び修繕を行い、教育環境の保持に努める。
事業内容	教育施設や整備の点検及び修繕を行い、教育環境の保持に努める。			
事業開始から現在までの状況変化	中学校の教育環境や整備の保持を目的とし、校務用パソコンやプール循環装置等の修繕を行ってきた。また、車いす用の階段昇降機の保守点検、備品の廃棄処理を行ってきた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	予算執行状況チェック	12	12	12	回	→→	月1回
②	予算執行率	84.94	76.15	90.17	%	→→		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,596,515	5,052,333	4,709,677				
事業費(b)(円)		2,537,015	3,038,733	2,732,077				
うち一般財源		2,537,015	3,038,733	2,732,077				
職員給与費(c)(円)		2,059,500	2,013,600	1,977,600				
人役・職員(人)		0.30	0.30	0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	教育環境保持のための、備品の修繕及び施設の整備を、効率的に予算執行を行う。	③取組における課題(Check)	備品及び施設の維持管理について、限られた予算の中で調達する必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	計画的かつ継続的に事業を実施した。特に、校務用パソコンやプールの循環装置等の修繕整備に力を入れた。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	今後も引き続き効率的な予算の執行を行っていく。